

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

## 事業名 外国語指導助手等設置費・活動費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教育研修課 研修第二係 電話番号：058-272-3456

E-mail : c17781@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 284,356 千円 (前年度予算額： 282,009 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	282,009	0	0	0	0	0	1,396	0
要求額	284,356	0	0	0	0	0	1,270	0
決定額								

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

- 「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用した外国語指導助手招致事業により、外国語教育の充実と国際理解教育、グローバル化に対応した教育を推進するため、全ての県立高校でALTによる授業を生徒が受けられるように配置している。
- 2020年度から始まった大学入学共通テストでは、「リスニング」が「リーディング」と同配点になり、2022年度から全面実施される新学習指導要領では、「読む」「聞く」「話す（やり取り・発表）」「書く」の英語4技能を総合的に学び、発信力を高めることが目標に掲げられている。

## (2) 事業内容

- ①県立高校の生徒が週1回、ALTの授業が受けられるようALT53人を配置  
 ②ALT及び学校のサポートのため、教育研修課に国際交流員(CIR)1人を配置

## ◆配置数の変遷

R2 年9月～：54人（計画：高等学校53人（教育研修課兼務1人を内数に含む）  
 教育研修課 1人（国際交流員））

→12人（R3.3時点実績）※「新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置」により来日延期

R3 年6月～：54人（計画）※JETプログラム参加者は特例として、順次来日を再開  
 →44人（R4.3時点実績）※R3.12に再度「新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置」により来日延期

R4 年8月～：54人（実績）

R8 年8月～：54人の内10人を上限に県による直接任用制度を導入予定

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・県 (10/10) (県立高校への配置のため)

### (4) 類似事業の有無

- ・無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	262, 586	報酬及び共済費
旅費	13, 982	赴任・帰国旅費、通勤手当、活動旅費
負担金	7, 788	外国青少年招致団体負担金
合計	284, 356	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- 第4次岐阜県教育振興基本計画

施策Ⅱ 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成

11 國際理解教育の充実とグローバル社会で活躍できる力の育成

### (2) 国・他県の状況

- 2020年度から小学校から順次、新学習指導要領の完全実施

①小学校高学年の英語教科化

②「授業は英語で行うことを基本とする」が中学校でも実施

③英語による言語活動の高度化と大学入試改革における英語4技能評価

- 他県におけるJETプログラムによる外国語指導助手の配置数

福井 35人／25校 富山 37人／39校 三重 42人／57校

石川 45人／45校 静岡 71人／90校 ※愛知 民間委託93人／148校

### (3) 事業主体及びその妥当性

- ・外国語教育の充実と国際理解教育、グローバル化に対応した教育を推進するため、全ての県立高校でALTの授業を生徒が受けられる環境が必要である。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

第4次岐阜県教育振興基本計画の主要施策の一つである「国際理解教育の充実とグローバル社会で活躍できる力の育成」に向けて、全ての県立高校において、英語4技能の育成、特に発信力の育成に対応した指導体制を強化するためALTを配置し、自らの考えや意見を発信できる態度や能力の育成を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R22)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①ALT及びCIRの配置数	8 (H22)	54	54	54	54	100%
②一定の英語力を有する生徒の割合（高：CEFR A2 / 中：CEFR A1）	(高)41% (中)36% (H28)	(高)48% (中)57%	(高)55% (中)58%	(高)55% (中)58%	(高)60% (中)60% (R10)	左表のとおり

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ALTの指導力向上を図る研修（予定含む）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導力向上研修 年間 2日 ALT・英語教員参加</li> <li>・地域カウンセリング会議 年間 12日 ALT等 9名参加</li> <li>・県立学校ALT担当者会議 年間 1日 担当者参加</li> </ul> </li> <li>(2) 生徒の英語力育成を図るALTの指導内容           <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置校（63校）における授業実践</li> <li>・高等学校英語キャンプの開催 2日間×2回 延べ78名の生徒と53名のALTが参加</li> <li>・ALTによるオンライン英語クラブ 年間 7回 県立高校希望生徒対象</li> <li>・中・高校スピーチコンテストの審査員及びフィードバック業務</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ALTの指導力向上を図る研修           <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導力向上研修 年間 2日 ALT・英語教員参加</li> <li>・地域カウンセリング会議 年間 12日 ALT等 9名参加</li> <li>・県立学校ALT担当者会議 年間 1日 担当者参加</li> <li>・新規ALT対象就労オリエンテーション、地区別研修 年間2回</li> </ul> </li> <li>(2) 生徒の英語力育成を図るALTの指導内容           <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置校（63校）における授業実践</li> <li>・高等学校英語キャンプの開催 2日間×1回 延べ53名の生徒と38名のALTが参加</li> <li>・ALTによるオンライン英語クラブ 年間 7回 県立高校希望生徒対象</li> <li>・中・高校スピーチコンテストの審査員及びフィードバック業務</li> </ul> </li> </ul>

指標① 目標：54 実績：54 達成率：100 %

指標② 目標：(高)50% (中)55% 実績：(高)48% (中)57%

令 和 6 年 度	(1) ALTの指導力向上を図る研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導力向上研修 年間 2日 ALT・英語教員参加</li> <li>・地域カウンセリング会議 年間 12日 ALT等 9名参加</li> <li>・県立学校ALT担当者会議 年間 1日 担当者参加</li> <li>・新規ALT対象就労オリエンテーション、地区別研修 年間5回</li> </ul>
	(2) 生徒の英語力育成を図るALTの指導内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・配置校(63校)における授業実践</li> <li>・高等学校英語キャンプの開催 2日間×1回 延べ40名の生徒と36名のALTが参加</li> <li>・ALTによるオンライン英語クラブ 年間 4回 県立高校希望生徒対象</li> <li>・中・高校スピーチコンテストの審査員及びフィードバック業務</li> </ul>
	指標① 目標： <u>54</u> 実績： <u>54</u> 達成率： <u>100</u> %
	指標② 目標：(高)50% (中)55% 実績：(高)48% (中)57%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	2022年度から全面実施されている学習指導要領は英語4技能を総合的に学び発信力を高めることを目標とし、大学入試でも4技能を評価することの導入が積極的に検討されている。
-----------	---

- ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり  
2：期待どおりの成果あり  
1：期待どおりの成果が得られていない  
0：ほとんど成果が得られていない

(評価) 2	生徒の英語の4技能の育成が、県立高校全体ではまだ達成されていないが、上昇傾向はある。
-----------	--

- ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価) 2	ALTの指導力向上を図る研修の充実、ALTをサポートする体制作りが進んでいる。
-----------	---

### (今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項
- ・経験のあるALTの指導力を継承する方法の研究
- ・県教育委員会と学校担当者の情報交換と連携によるサポートの実施
- ・新規来日や帰国に係るALT本人と担当者の負担軽減方法の検討

### (次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

ALTの活用が生徒の英語学習の向上やグローバルな視野の醸成に大きく寄与している。英語4技能の育成強化に向けて、授業内外でのより効果的な活用のあり方について研究を進める。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	新規招致JET参加者に対する岐阜県オリエンテーション、ALT指導力向上研修、地域カウンセリング会議等 【観光文化スポーツ部国際交流課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	岐阜県のJET取りまとめ団体である国際交流課との連携、協力